

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 22 日現在

機関番号：33917

研究種目：基盤研究 (B)

研究期間：2008～2011

課題番号：20320086

研究課題名 (和文) 日本人的特殊性を考慮したオンライン教育学の構築-日本人向け独習用独語
オンライン 講座研究課題名 (英文) A self-study-language course for German as a Foreign language which
take in consideration the special learning situation for Japanese.

研究代表者

オリファ バイアライン (Oliver Bayerlein)

南山大学・外国語学部・教授

研究者番号：30387732

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学・外国語教育

キーワード：①オンライン講座、②ドイツ語、③Moodle、④eラーニング

1. 研究計画の概要

本プロジェクトでは、日本における有効性の観点から、日本人のための「外国語としてのドイツ語(DaF)」のオンライン語学コース案を作り上げることが目的である。この語学コースは、学習過程で常に実施される「評価」を通して吟味され最適化されるが、最終目的は、ヨーロッパ及びアメリカでの学習理論をめぐる最新の潮流を視野に入れながら、日本の外国語学習者の要望や必要性に対して最適化される、外国語教育の分野における自律学習のためのオンライン教育学を構築することである。ここでこのオンライン教育学は単にドイツ語学習者だけではなく、他の言語の学習者にも有効なものとなる。

2. 研究の進捗状況

平成 22 年度は本研究 (4 年間) の 3 年次にあたる。本年度は、23 年度のオンライン講座の一般公開に向けて、21 年度に構築したプロトタイプの評価アンケートの分析に基づき、コース全体の問題点の洗い出しを行った。具体的には、撮影した講座用ビデオの評価と再撮影、The Common European Framework of Reference for Languages のレベル B1 に準拠するためのテキスト修正、文法練習やコミュニケーション問題の新開発、文化的諸テーマの系統的学習に関する実証研究、学習コミュニティの構成方式の検討などを行い、予定されていたオンライン講座 (12 ユニット) の開講のための準備を終えた。現在その講座について、多様な OS およびブラウザによる検証、Podcast や携帯電話での利用のための検証、特に最近急速に普及しているスマートフォン (i-phone, i-pad) への対応などを確認した。現在コンテンツ配信の最終チェックを行っている。またデュッセルドルフ大学多

文化コミュニケーション研究所の協力を得て、当地で海外のドイツ語学習者にもこの語学講座を利用してもらい、外国人と日本人とのオンライン語学コースの利用形態の比較を行い、日本人的特殊性に関するデータを収集することにし、その準備として、本語学講座に英語のバージョンも作成した。

3. 現在までの達成度

すでに予定した学習観察の分析結果に基づきこの語学講座に改善が施された。すなわちそのフィードバック作業によって、この講座では語彙やテキストはより統合されたものに差し替えられた。その成果については、学会発表や論文において発表した。

4. 今後の研究の推進方策

平成 23 年 4 月よりオンライン語学コースの公開を行ったのち、年間を通じてデータ収集を行い、適宜分析評価を行いながらモデルの修正を行い、成果を論文、学会で発表する予定である。そこではなによりも、テストバージョンではなく初めて通常バージョンによって運用するので、語学講座における日本人学習者の学習態度に関して、より多くの新しい情報を手に入れることが期待される。そのため、より多くの大学の学生にこの語学講座に興味をもってもらう必要がある。さらには、もともとの計画には無かったが、この講座のための教科書を作成し、ブレンディドラーニングを行うために利用してもらうことも予定している。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕（計 3 件）

① Bayerlein, Oliver: „Benutzerdefinierte Rückmeldungen bei Moodle. Möglichkeiten und Grenzen von Feedback für Lernereingaben bei geschlossenen Übungsformen.“, Neue Beiträge zur Germanistik. ドイツ文学, 4, 2008, 225-238.

② Bayerlein, Oliver: Lernerbeobachtungen zur Nutzung von Feedback bei einem videogestützten Online-Sprachkurs für Deutsch als Fremdsprache.“, Info DaF 37, 6 (2010), 570-576.

③ Bayerlein, Oliver: „E-Learning in Japan – Rückblicke und Ausblicke.“, Academia Literature and Language 89 (2011), 273-287

〔学会発表〕（計 6 件）

① Bayerlein, Oliver, 里村和秋: Feedback bei Moodle. Erfahrungen aus einem Blended-Learning-Unterrichtsprojekt im Bereich Deutsch als Fremdsprache, 2008、Tokyo、日本独文学会

② Bayerlein, Oliver: Möglichkeiten und Grenzen von individuellen Rückmeldungen bei Moodle, 2009, Jena/Weimar, XiV. Internationale Tagung der Deutschlehrerinnen und Deutschlehrer (IDT)

③ Suzuki, Shinichi: Inwiefern ist Fremdkultur wirklich fremd?, 2009, Jena/Weimar, XiV. Internationale Tagung der Deutschlehrerinnen und Deutschlehrer (IDT)

④ Bayerlein, Oliver, Rüdiger Riechert: Vernetzte Welten — Chancen und Grenzen internetgestützter Lehr- und Lernprozesse im DaF-Unterricht, 日本独文学会, 秋季研究発表会、2009 (名古屋市立大学)

⑤ Bayerlein, Oliver: Let the students speak. Providing impetus for oral activities in Moodle environment, 2009, Vancouver, eLearn 2009

⑥ Bayerlein, Oliver: More than one right, three false: enhancing multiple choice questions, 2010, Melbourne, MoodleMoot au 2010

〔図書〕（計 件）

〔産業財産権〕

○出願状況（計 件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況（計 件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕